

A Bit of Everything - 自分探しの旅！

5泊7日 in ロンドン

2017年2月26日 - 2017年3月5日

安藤摩耶 2年

渡航先での活動内容



DAY 1 - Lecture

Researching Alcohol & Tobacco Industry: Strategies to Influence Policy

酒類とたばこ業界の実態を知ることが、消費削減に関する政策づくりにどう役立つのか？ひとくくりにしがちな「酒類」と「たばこ」だが、これらの製品には本質的な違いがたくさん存在し、政策作りにおいて考えるべきことも大きく違った！

@ London School of Hygiene and Tropical Medicine

DAY 3 - Lecture

Negotiating Mixed Identities Generations of Afro-Caribbean and White Londoners

イギリスの人口の大きな一部でありながらも、*White and Black Caribbean people* は文化的マイノリティとして扱われてきた。多民族国家であるイギリスで暮らす *mixed group* はどのような自己同一性問題に直面し、どのように社会地位が変化してきたのか学んだ。

@ Goldsmiths University of London

DAY 5 - Interview

Interviewing 'Third Culture Kids' - Globalisation and Identity Crisis

Facebookを通じて知り合った10人のUCL生をインタビュー。両親が生まれた国の文化とは違う文化で育ったThird Culture Kids (TCK) は自分たちの特殊なアイデンティティとどう向き合い、TCK特有の自己同一性問題を乗り越えてきたのかをインタビュー。



@ University College London

DAY 2 - Lecture

Comprehending Cholera in Early Nineteenth Century India

18世紀ベンガル地方で発生した第一回目のコレラパンデミックはあまり研究されたいない。しかし、この大流行を知ることは、防疫体制の発展や当時の英印関係および公衆を理解するのに不可欠だった！

@ St. Anthony's College, University of Oxford



DAY 4 - Workshop

Creativity and Expression as a Therapeutic Process

NHSで働くアート・サイコセラピストの方によるグループワークショップ。科学とは無縁である「アート」がどう精神的健康に結びつくのかを体験！

@ Goldsmiths University of London



グローバルな視点とは何か

研修支援制度に望むこと

意見やものの見方は、生き立ちによって大きく変わってくるものだとして理解し、様々な人たちの視点から物事を考えられること。

目的以外に学んだ点、反省点

後輩へのアドバイス

・訪問先にしつこくメールすることを恐れない！一回目は返事がなくても、二回目にくることが多かった。一日何百通ものメールが届く大きな機関にメールをする場合は目立ってなんぼ！

・今回は5泊7日の研修だったが、ロンドンで見たいものはまだまだあった。宿泊先やフライトのランクを落とし計画的に訪問先とアポを取れば、予算内で滞在時間を延長することは絶対可能！

目的を達成できたか・将来の進路決定へどう影響したか

まだ興味がはっきりとしない2年生の段階でも、公衆衛生、アートセラピー、アイデンティティ問題など様々な分野に触れていくうちに、自分がどういうことに興味があるのか気づくことができた。

いつもとは全く違う視点から「健康」を見つめ直すことができるこの機会は本当に貴重な体験であり、非常に刺激的なものだった。